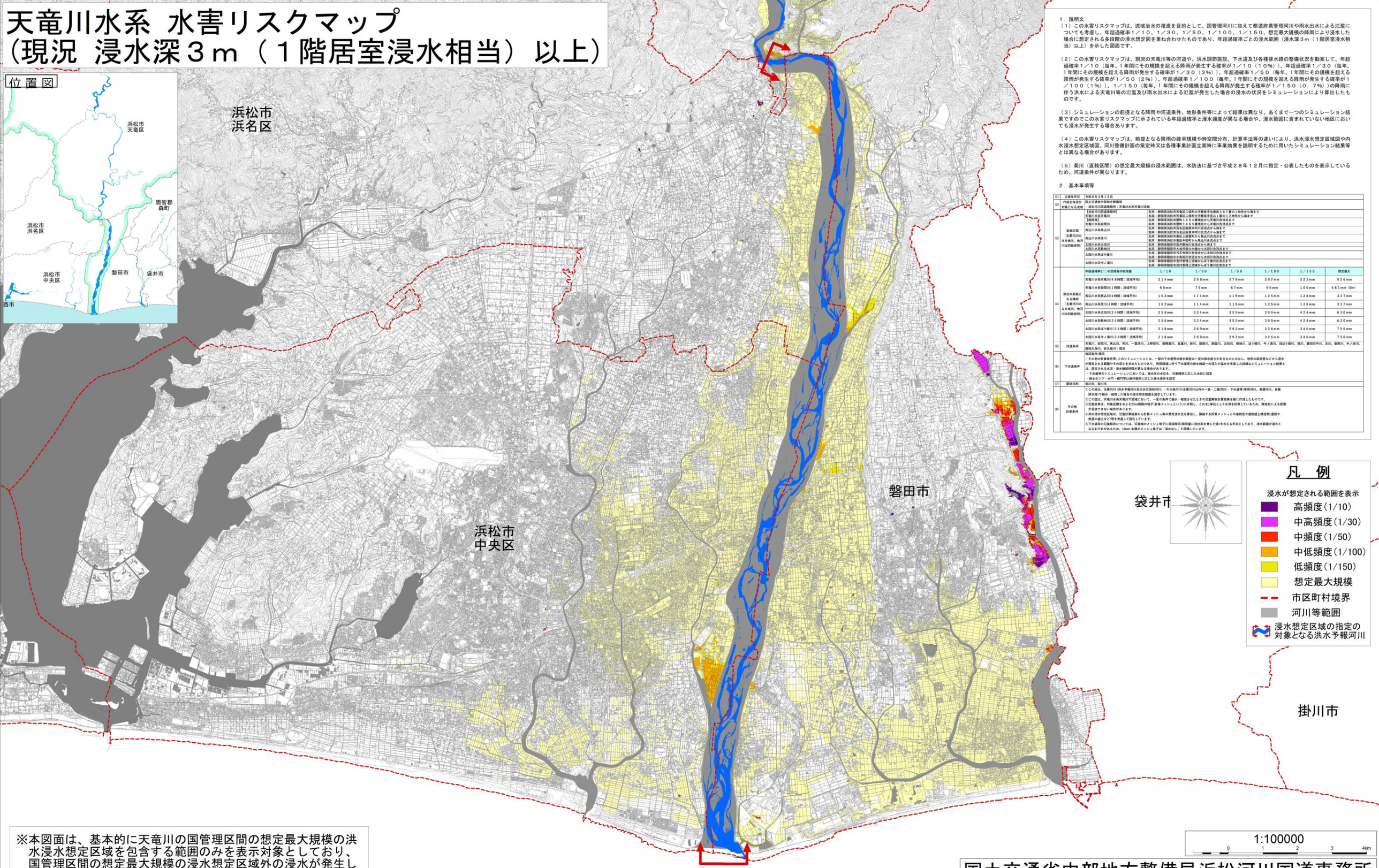
天竜川水系 水害リスクマップ
（現況 浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上）



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００、１／１５０、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の天竜川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／１０（１０％））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／３０（３％））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２％））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／１００（１％））、１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。

（4）この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図、内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

（5）菊川（直輻区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年１２月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

(1)	公表年月日	令和８年３月１９日							
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・浜松河川国道事務所：天竜川水系天竜川流域							
(3)	実施区間（主要河川のみを表示、他河川は別紙参照）	【浜松河川国道事務所】	左岸：静岡県浜松市天竜区二俣町大字鹿島字北鹿島３６７番の１地先から海まで						
		天竜川水系天竜川	右岸：静岡県浜松市天竜区二俣町大字鹿島字西山１番の２地先から海まで						
		【静岡県】	左岸：静岡県浜松市雄町１４５４番地先から天竜川合流点まで						
		天竜川水系安間川	右岸：静岡県浜松市雄町１４５５番地先から天竜川合流点まで						
		馬込川水系馬込川	左岸：静岡県浜松市浜名区新原本村川合流点から海まで						
			右岸：静岡県浜松市浜名区新原本村川合流点から海まで						
		馬込川水系菅川	左岸：静岡県浜松市東区中田町から馬込川合流点まで						
			右岸：静岡県浜松市東区中田町から馬込川合流点まで						
		太田川水系太田川	右岸：静岡県磐田市白根地内合流点から海まで						
		太田川水系敷地川	右岸：静岡県磐田市大当知谷の未確から太田川合流点まで						
		太田川水系ぼう橋川	左岸：静岡県磐田市中泉地内合流点から太田川合流点まで						
			右岸：静岡県磐田市小島地内合流点から太田川合流点まで						
		太田川水系今ノ瀬川	左岸：静岡県磐田市見付字瀬上流端から太田川合流点まで						
			右岸：静岡県磐田市見付字瀬上流端から太田川合流点まで						
(4)	算出の前提となる降雨（主要河川のみを表示、他河川は別紙参照）	年超過確率1／○の流域毎の総降雨量	1／10	1／30	1／50	1／100	1／150	想定最大	
		天竜川水系天竜川(48時間：流域平均)	214mm	258mm	279mm	307mm	322mm	526mm	
		天竜川水系安間川(1時間：流域平均)	66mm	79mm	87mm	95mm	100mm	481mm（6hr）	
		馬込川水系馬込川(48時間：流域平均)	102mm	114mm	119mm	125mm	128mm	337mm	
		馬込川水系菅川(48時間：流域平均)	102mm	114mm	119mm	125mm	128mm	337mm	
		太田川水系太田川(24時間：流域平均)	256mm	324mm	355mm	399mm	424mm	630mm	
		太田川水系敷地川(24時間：流域平均)	256mm	324mm	355mm	399mm	424mm	630mm	
		太田川水系ぼう橋川(24時間：流域平均)	218mm	269mm	292mm	326mm	346mm	756mm	
		太田川水系今ノ瀬川(24時間：流域平均)	218mm	269mm	292mm	326mm	346mm	756mm	
(5)	河道条件	天竜川、安間川、馬込川、菅川、一雲済川、上野部川、御陵堀川、北鹿川、新川、田新川、磯堀川、太田川、敷地川、ぼう橋川、今ノ瀬川、田城下橋川、銀川、銀田田中川、吉川、倉西川、寺ノ池川、御前久保川、安久路川：現況							
(6)	下水道条件	施設条件:現況 ・その他の排水条件等：このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される浸水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 ・下水道等のシミュレーションにおいては、排水条件は毛、対象降雨に応じた余位に設定 ・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定							
(7)	関係市町	磐田市、袋川市							
(8)	その他計算条件	①この図は、主要河川（浜松予報河川及びその位置河川河川）・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(事用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、天竜川水系天竜川下流域において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾監解析計算結果を基に作成したものです。 ③氾監計算は、対象区間を約２５ｍ間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④浜水深の想定区域は、氾監計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して設定しています。 ⑤下水道等の氾監解析については、氾監域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm 未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。							

※本図面は、基本的に天竜川の国管理区間の想定最大規模の洪水浸水想定区域を包含する範囲のみを表示対象としており、国管理区間の想定最大規模の浸水想定区域外の浸水が発生しないことを意図するものではありません。

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 976）